

環境政策イノベーション論講座

Blue Laboratory

【ゼミ説明会】 12月 5日（火） 12時10分～12時50分
12月 7日（木） 12時10分～12時50分
対象：1年・2年生

【ゼミ見学日】 12月 6日（水） 2限
12月 7日（木） 2限
12月13日（水） 2限

【ゼミ室】 文科系研究棟 5階 503号室

【質問など連絡先】

メールアドレス：blue@yokohama-cu.ac.jp

ホームページ：<https://www.aomasazumi-bluelab.com/>

Neuschwanstein Castle. This is Swan Castle !

環境政策イノベーション論講座 Blue Laboratory (略称 Blabo)

【担当教員】 青 正澄 Masazumi Ao (学位：環境学博士)

【募集定員】 10名

【ゼミ概要】地球規模の環境問題を学ぶことに強い意欲を持った学生が集まっています。ゼミで扱う研究は、気候変動・大気汚染・海洋汚染等に関係することがテーマで、資源、食品や生活用品、電子機器、BEV（電気自動車）やタイヤ等の製品設計から廃棄に至る資源循環、再生可能エネルギーや水素の供給、環境教育など、卒論研究に向けた個人研究だけに留まらず、学年の枠を越え、将来イノベーションを起こす可能性がある研究を各グループで行っています。

海外フィールドワーク研修はこれまで16回実施し、欧州やアジアを訪問して現地の大学や環境NGOでワークショップを開催し、日ごろの研究成果を発表してきました。

ゼミでは環境分野の専門家等と一緒に研究を行ったり、インターンをしたりして現場感覚や国際的な知見を得るとともに、英語や日本語によるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上に取り組んでいます。

【ゼミの研究テーマ】

1) カーボンニュートラル（脱炭素化）社会の実現、2) グリーンエコノミーの構築、3) 環境教育の実践、4) 国際規模の環境協力、5) 安全な食料需給と消費、などが中心です

【ゼミの研究対象地域】

1) スウェーデンやイギリスを中心に欧州各国、2) 米国、3) アジア全域、4) オセアニア、5) 日本各地、が中心です。アジアは全域が対象ですが、インド研究に力を入れています

【ゼミ研修】スウェーデン研修（2022年9月）、岐阜県飛騨市研修（2019年8月）
スウェーデン&ラトビア研修（2025年3月又は9月実施申請予定）

【学部担当科目】共通教養科目：総合講義「環境論入門」

専門科目：「地球環境政策論」「資源循環論」「演習」他

【主な就職先】NHK、フジテレビジョン、日本航空、ドイツバンク、日本IBM、富士通、みずほ銀行、横浜銀行、鹿島建設、構造計画研究所、レナウン、パソナ、パナソニック、東京電力、中国電力、横浜市、横須賀市、都庁、青森県、大田区、農林水産省、サステナブル経営推進機構、日本学術振興会、環境省、中高教員、大学院進学、他

【メッセージ】ゼミ募集では、皆さんの積極性と将来の夢を重視します。自然が大好きで体力もあり、好奇心旺盛で活動的な人、国際問題の課題解決にチャレンジしてみたい人に向いているゼミです。

私の趣味は硬式テニスとアウトドアスポーツ、オペラ・バレエ・ミュージカル鑑賞です。特にバレエの美しさに魅了されます。

一緒にアウトドアを楽しみましょう！

環境政策イノベーション論講座 Blue Laboratory



【コース】国際教養学部 都市学系
【担当教員】青 正澄 教授

【研究内容】

地球環境に関する内容について各自テーマを決めて研究に取り組んでいます。
e.g.) 大気汚染、サーキュラーエコノミー、海洋汚染、環境教育 etc..

【活動紹介】

➤ 全体ゼミ

月に一度、ゼミ生全員が集まる全体ゼミを開催しています。
全体ゼミでは、参加するイベントの決め事や、2021年度までは2~4年生まで同じグループで研究を行う「グループ研究」の進捗状況を発表・共有しておりました。そこでは、「海洋汚染班」「大気汚染班」「SCP（持続可能な生産と消費）」に分かれ、研究を行っていました。しかし、2022年度に先生の海外出張があり、1年間ゼミとしての活動と新入生の募集が止まってしまったため、今後のグループ研究については未定です。

➤ エコプロ展

毎年12月、日本最大級の環境展示会である“エコプロ展”の「大学ブース」に出展しています。プロジェクトの成果発表やアンケート調査を行います。大学や多くの企業が東京ビッグサイトに出展し、この会場に3日間で16万人が来場していて大いに盛り上がります。

➤ 国内と海外研修

昨夏2022年9月は、スウェーデンのウプサラにて1週間ほど研修を行い、“Plastic Packaging” “Sharing Service” “Sustainable Energy” の3グループでの研究成果について発表・意見交換を行いました。ウプサラ大学、ウプサラ市役所、スウェーデン廃棄物協会、環境に優しい町として有名なハンマルビーショースタッドなどを訪問・視察しました。研修を通じて現地の環境配慮型の生活や取り組みについて大いに学ぶことはもちろん、昨夏の研修後には、参加者の8割が留学に挑戦するほど、英語での議論を通じて、英語力に自信が持てるようになりました。



本ゼミでは次のような能力を得ることができます！

「英語力」：英語文献を読み漁ったり、ゼミ内で英語ディスカッションを行ったりします。

「論理性」：研究に関する先生の厳しいチェック、個の意見を述べる機会が多いです。

